

まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL 0997-42-2911 FAX 0997-49-1018

屋久島里めぐり～地域をもっと身近に～

【屋久島里めぐりとは？】

当財団では、里の暮らしに注目し、観光ガイドブックには載っていない集落の魅力を発信していく「里めぐり」の事業を推進しています。2時間程度のコース設定で、島独特の歴史・文化・自然・産業について、何とも楽しい語り部さんの話を聞きながら、のんびりゆったり過ごす時間は格別です。

EXPERIENCE



普段体験
できないことや

一湊のサバ節工場見学

LANDSCAPE



歩いてみると
わからない景色

春牧の一枚岩

ENCOUNTER



特産品にも
出会えるかも

中間のウェルカムスイーツ

【里めぐりー押しポイント！！】

里めぐりで集落散策した後は、地元の食材を使った、素朴でどこか懐かしい料理を堪能してみたいはいかがでしょう。



実施集落：永田*・吉田*・一湊*・宮之浦
春牧・平内・中間

参加費：1人 1,500円
昼食付は追加1,000円

問合せ先：屋久島里めぐり推進協議会
TEL 42-2900

※★は昼食付 5名以上から
※3日前までの予約が必要です。

* 星空観察会 in 安房小学校 *

天体望遠鏡を使った星の観察や賞品付きの天文クイズ大会を行います。夏の星空が輝く素敵な星空の世界にご招待します。

日時：9月29日（金）19：30～21：00
（受付19：00～）

場所：安房小学校体育館・校庭

対象：どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

参加費：無料（予約不要）

★雨天時は天文レクチャー・クイズ大会のみ実施

お問い合わせ TEL 46-2900（担当：讃岐）

★ファンクラブ会員募集中★

当財団では、屋久島のすばらしい自然を未来へ引き継ぐための様々な活動を支援していただくために「屋久島ファンクラブ」の会員を募集しています！

屋久島への温かい思いを持つ方のご入会をお待ちしております！



お問い合わせ TEL 42-2900

【お知らせ】

村センター 8月～10月までは全日開館します。

研修センター 8/14(月)、9/11(月)、9/18(月)が休館日です。



インストラクターだより

「雨予報士」

インストラクター：本間 詩織

雨期になると水田などからカエルの合唱が聞こえてきますが、カエルはなぜ鳴くのか知っていますか？一般的にはカエルのオスが自分の縄張りを主張したり、メスへの求愛をしたりするときに鳴くと言われています。特に繁殖の時期が始まると、うるさいくらい自分をアピールするために鳴き始めます。しかし、なかにはそれ以外でも鳴くカエルがいます。その正体は、皆さんもよくご存知のアマガエルです。

アマガエルの正式な名前は「ニホンアマガエル」、沖縄を除いて北海道から九州まで幅広く分布し、主に水田や森林などに生息しています。特徴は目の横にある黒い線（キール）と吸盤のように吸い付く指です。この指は垂直な樹やコンクリートでも登ることができます。また、アマガエルは周囲に合わせて体の色を変え、敵から身を守ることができる技を持っています。

一般的にカエルのオスが繁殖の時期に出す鳴き声を専門的に『メイティングコール（^{こうこくおん}広告音）』といい、カエルの種類によって様々な鳴き声があります。アマガエルのオスには『メイティングコール』以外に、「ケツケツケツケツ」と鳴く『レインコール』があります。文字通り雨が降るときに鳴き、^{あまな}雨鳴きをするカエルということからアマガエルという名前が付いた説もあります。彼らの皮膚は薄いため周辺環境に大変敏感であり、わずかな気圧の低下を感じ取ると鳴き始めると言われています。

屋久島にもアマガエルは生息しています。普段はあまり見かけることがなくても、耳を澄ませば「ケツケツケツ」という鳴き声が聞こえてきます。周辺にアマガエルがいれば雲行きが怪しい天気の際にも予報士として役に立つのではないのでしょうか。

参考文献 改訂版日本カエル図鑑：前田憲男、松井正文：文一総合出版：1999

All about: <https://allabout.co.jp/gm/gc/220603/>



財団活動報告

【むらせん祭り】

7月23日（日）、環境文化村センター開館21周年を記念し以下のイベントを行ないました。

◎映画上映会・・・『アングリーバード』（2回公演）

◎むらせん祭り・・・親子で、自然工作やオリジナルうちわづくり、灯籠づくりなどを楽しみました。

各種団体にご支援ご協力をいただき、大盛況でした。本当にありがとうございました。



【口永良部島の復興スタート】

～のんびりゆったり里のエコツアー～

参加者が、地元ガイドの案内で、島内散策で島を堪能しました。島の無限の魅力と人々の温かさに触れ、「感動した」「もう一度ゆっくり出かけたかった」という言葉をいただきました。財団も、島の火山災害からの復興を後押ししています。



『頑張ろう口永良部島』

新任者紹介 研修センター 小脇大和

屋久島が「世界自然遺産」に登録されたのは私が4歳の時です。みなさんは屋久島の全面積の約2割が自然遺産地域に登録されていることをご存じですか？残りの約8割は登録地域外ということ。私は恥ずかしながら数年前まで知りませんでした。

高校・大学と屋久島の外に出ていた私は、友達に「屋久島は世界遺産だよ！」「遊びにおいでよ！」「来たら案内するよ！」等と言っていました。自然遺産地域の範囲も知らない無知な少年がどのように案内するつもりだったのか...

そんな私が今年の4月に研修センターに異動となりました。あの無知な少年が、今は研修センターを訪れる方に屋久島の事を教える立場になっています。教えるということは、そのものを深く理解していないと出来ないことです。まだまだこれから私の郷土「屋久島について」勉強していかなければならないことはたくさんありますが、ここ研修センターでの経験は私の大きな財産になると感じています。

